

# 主題：神の家また神の都としての召会を建造するための 主の回復の内在的な意義

メッセージ 6

## 神の家の建造

聖書：エズラ 1:2-5, 5:1-2, ハガイ 1:1-14, 2:7 後半, マタイ 16:18, ヨハネ 2:19-22, 14:2-3, 20

### I. 神は彼が父である家と、彼が王である王国を必要とします。このために、彼は回復を必要とします——エズラ 1:2-5, ヨハネ 14:2, 3:5:

- A. 神の敵サタンは、地を横領し、地を彼の家また王国として維持しました——マタイ 12:25-29。
- B. 主は彼の家また王国が秩序正しくなって、彼の永遠のエコノミーを遂行することを願っています。こういうわけで、主は彼の民が彼らの捕囚から帰還することを必要とするのです——I テモテ 3:15, ローマ 14:17, エペソ 2:19-22。

### II. わたしたちが神のために地上に住まいを建造するという神の願いは、わたしたちがこの世から解放され、神以外に何も持たないならはじめて成就されます——出 25:8, 詩 73:25-26, エペソ 2:1-12:

- A. この世は神の建造に敵対しており、神の建造はこの世に反対されています——ヨハネ 15:18, I ヨハネ 2:17。
- B. 神の住まいとなるためには、徹底的にこの世を知らなければならず、この世の要素がわたしたちからきよめられなければなりません——ローマ 12:2。

### III. 神の住まいの建造に関して、神と彼の敵との間に争い、激しい戦いがあります——エズラ 4:1-4, 24, マタイ 16:18:

- A. 敵は神の住まいの建造が順調に進むのを見たくありません。ですから、敵はできる限りのことを行なって、妨害し、干渉し、妨げ、攻撃し、破壊します。
- B. すべての攻撃、反対、悪口の目的は、神の住まいを建造して彼の目的を成就するのを妨げることです。

### IV. ハガイの預言は民を強め励まして、神の家、宮を建造させました——ハガイ 1:1-14, 2:7 後半, エズラ 5:1-2:

- A. 自己に仕えて神を無視している帰還した捕囚の民は、自分の家を顧みましたが、エホバの家を顧みませんでした (ハガイ 1:4)。9 節の「走り回る」という言葉は、民が自分の家を顧みるのに忙しかったことを示します。
- B. 神の家の建造を回復することに関して、わたしたちは中立であることはできません。わたしたちは絶対的でなければならず、最初に自分の家を顧みるか、それとも最初に主の家を顧みるかのどちらかです——マタイ 6:33, ピリピ 2:20-21。

### V. 主の回復は命と建造の回復です。それは聖書の基本的で中心的な啓示です——創 2:9, 啓 21:2:

- A. 「命」と「建造」は、全聖書における二つのかぎとなる言葉です。
- B. 命は建造のためであり、建造は命から出て来ます——ヨハネ 1:1, 4, 11:25, 14:2。

C. 命は神ご自身です。建造は命としての神を経験し、団体のからだの中で命としての神を表現した結果です——エペソ 4:18, 16。

**VI. 奥義的な福音書であるヨハネによる福音書は、キリストの復活の命における御父の家の建造の啓示です—— 2:19-22 :**

A. ヨハネによる福音書は、命と建造についての書です—— 3:15. 14:2-3 :

1. 命は、神が建造を得て維持する手段です。
2. 建造は、三一の神の拡大、拡張であり、彼がご自身を団体的に表現することができるようにします—— 15:1-8。
3. ヨハネによる福音書の啓示によれば、三一の神はご自身を彼の信者たちの中に分与して、彼らが神の建造、神の団体の表現となるようにしています—— 14:1-31。
4. わたしたちが神の建造について語るとき、それは命としての三一の神が絶えずわたしたちの中に造り込まれ、わたしたちが彼の唯一の団体の表現となることを意味します——エペソ 3:16-17 前半, 19 後半, 21。

B. ヨハネ第 2 章は、命の原則と命の目的を啓示しています :

1. 命の原則は死を命に変えることです—— 1-11 節。
2. 命の目的は神の家を建造することです—— 12-22 節。
3. 命の原則と命の目的は、いずれも復活と関係があります :
  - a. 「三日目」(1 節)は復活の日です—— I コリント 15:4. 使徒 10:40。
  - b. 「三日のうち」(19 節)は、復活の中で何かが起こることを意味します。

C. ヨハネ第 2 章 19 節の主の言葉は、彼の死と復活に関する預言でした :

1. 彼は復活の中で宮を再建することを啓示しました—— 21-22 節。
2. 第 2 章 19 節で預言されている神の宮、家の再建と拡張は、第 14 章 2 節で成就されます。その所で主は、多くの住まいがある御父の家について語っています。

D. キリストは彼の死を通して彼の復活の中で、御父の家を建造しました—— 2:19. 14:2 :

1. キリストのからだまた神の家としての召会は、復活の中にあります——エペソ 1:22-23. I テモテ 3:15。
2. 召会の性質は復活であるので、召会は死の攻撃に耐えることができる存在です——マタイ 16:18. 使徒 2:24。

E. キリストのからだの実際の中においてしようとするなら、わたしたちはキリストの復活の命の中で絶対的になる必要があります——ヨハネ 11:25. I コリント 15:45 後半。

F. わたしたちはキリストの死と復活を通して建造されるべきです。それは、わたしたちと神が共にミングリングされて相互の住まい、御父の家、神の建造、すなわち、三一の神の団体の表現となることのできるためです——ヨハネ 14:2-3, 20。